

平成27年度第2回成田市行政改革推進委員会会議結果概要

1 開催日時

平成28年3月11日（金） 午後2時から午後3時20分まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

（委員）

齊藤市衛会長、芦澤博副会長、新井とみ子委員、齊藤利明委員、匝瑳昭次委員、高木木津枝委員、塚田和佳子委員、久野直衛委員、諸岡靖彦委員、渡邊義本委員

（成田市）

事務局（行政管理課） 成毛課長、久能係長、高岡副主査

4 配布資料

- ・会議次第
- ・成田市行政改革推進計画（平成28～30年度）の策定について（答申案）
- ・平成27年度第1回成田市行政改革推進委員会会議概要
- ・資料① 実施項目の追加

5 議題

（1）成田市行政改革推進計画（平成28～30年度）の策定について

6 議事（要旨）

前回の会議（平成28年2月12日）で諮問のあった成田市行政改革推進計画（平成28～30年度）の策定についての答申を決定するに当たり、前回の会議での意見等を踏まえて作成した答申案の内容について、委員の意見交換・協議が行われた。主な意見等は次のとおりである。

答申案の本文について

- ・全体的にまとまっており、原案のままで良いのではないかと。

I－① 市民との協働の推進 に関する附帯意見について

【附帯意見 I－①の1、2 について】

- ・附帯意見2の『次世代を担う若者の市民協働への参加を促してもらいたい』の部分を、附帯意見1の『市民の行政への参加の機会を増やすとともに』の後に加え、附帯意見2の『一層推進するとともに』の後に、『市の医療体制の充実を図るた

め、市民との連携が図られるよう配慮されたい』と表現にしてはどうか。

- ・同意見である。特に附帯意見2の国際医療福祉大学については、多額のお金をつぎ込むので、もっと具体的な取組み内容を入れてもらいたい。医科大学からみても、WinWinの関係になっている。医科大学も地域へ出て行かなくてはならない。2011年の総合5カ年計画でも3本の柱に医療と福祉をうたっている。短期中期的に見ると、負担を伴うかもしれないが、この方針によって長い目で見ると医療費がおさえられるという見込みが立つので、連携事業を推進してもらいたい。

→意見を踏まえ修正する。ただし、具体的な取組み内容については、今後、協議していくこととなる。

【附帯意見 I - ①の2 について】

- ・病院同士の連携は少しずつだが進みつつある。例えば、成田の日赤で行えないことは、佐倉の東邦病院で行うなど、病院同士で補完し合う体制が整備されてきている。高齢化等が進み地域ごとの連携は大切になってくる。
- ・事業の連携については総合計画で必ず触れるべき。
- ・行政と大学との連携だが、行政がどこまで踏み込んでいくのかというのは、非常に難しい。行政は病院と病院、病院と診療所等の連携の橋渡しの役割となるべき。
- ・今はそれだけでは足りない。現在重視されているのは予防医療。そのために協働が必要となる。言葉として『連携事業の策定』とはっきり入れてもらいたい。
→意見を踏まえ修正する。

I - ② 市民サービスの向上 に関する附帯意見について

【附帯意見 I - ② について】

- ・市民サービスの向上の項目には無いが、ケーブルテレビによる市内の情報格差の是正要望がある。市でも来年度予算でケーブルテレビの調査研究を行うと聞いている。視聴エリアが拡大し、市の情報が得られるようになることで、市政への参加が図られるのではないか。
- ・情報はHPで発信していると良く言うが、農村地域では画面を開ける人が何割いるかという問題がある。
- ・コミュニティチャンネルは必要だが、ケーブルではなく、もっとローコストで視聴できる手法がある。
- ・公民館の図書室では所蔵が少ないため、本に触れる機会が少なくなっている。5つ目の附帯意見として、地区公民館の図書室の蔵書の充実について加えてもらいたい。

→前回頂いた意見については、図書館の担当者にも伝えている。貸し出しの利便性、図書の実態について追記する。

【附帯意見 I - ②の1 について】

- ・高齢者の後に『独居者』も加えてもらいたい。
→意見を踏まえ修正する。

【附帯意見 I - ②の2 について】

- ・流山は今回の国勢調査で県下一番の伸び率であった。流山では、駅前に保育施設があるのではなく、駅前で保育施設に送迎する体制が整っている。
- ・保育士一人当たりの、受け持つ児童数が過大だと聞く。コーディネーターが増え、成田市でもうまく地域、学校、保育所などと連携できていければいい。
- ・成田市は、全ての小学校の敷地内に児童ホームが整備されており、画期的なことだと思っている。対象も4年生から6年生まで拡大しようとしている。『児童ホームを充実させることで』とあるが、この表現では整備が進んでいないように捉えられてしまうので、『さらに充実させる』という表現ではどうか。
→意見を踏まえ修正する。

【附帯意見 I - ②の3 について】

- ・『様々な市民活動団体が連携できる仕組みを検討されたい』とあるが、基礎となる自治会や町内会に地域住民の参加が少なくなっている。消防団なども団員の確保が難しくなっており、行政としてどこまで出来るかわからないが、住民の方々の加入を促進させるような施策をとってもらいたい。
→意見を踏まえ修正する。

I - ⑤ 人材の育成と活用 に関する附帯意見について

【附帯意見 I - ⑤の3 について】

- ・『人員が必要であり、人員を削減して』とあるが、その部分を削除、もしくは、3項目目全体を削除してはどうか。この文言では人員が必要であると誤解を生む。成田市の残業体制は昭和型のような気がする。2000年以降、どの自治体も人件費を削減している。人件費の部分について、他市より遅れているのではないか。
→附帯意見の3を削除する。

II - ① 事務事業の見直し に関する附帯意見について

【附帯意見 II - ①の2 について】

- ・文書館の整備を進めてもらいたい。
- ・前回、地域コミュニティの歴史を保存したいとの意見があったが、文書に限らず、映像や写真などに加えて情報の共有も図れる体制にしてもらいたい。行政

側からの一方的なものではなく、相互にできる体制の整備が必要。保存するだけでなく、配信することも重要である。

Ⅱ－② 持続可能な財政構造の構築 に関する附帯意見について

- ・なぜ、最初から追加項目（地域エネルギー会社への出資による電力コストの削減）については、漏れてしまっていたのか。
→具体的な方針として定まったのが、今年に入ってからのため素案には反映できなかった。

【附帯意見Ⅱ－②の1 について】

- ・医療産業の集積については、国と県を巻き込んで、他には無い形態を形成してもらいたい。

◎答申の決定について

答申については、今回の会議での意見等を踏まえ、必要な修正を行った上で、決定とする。なお、字句の修正等については、会長と事務局に一任とされる。

7 傍聴

傍聴者 1名